

2024年度第1回情報教育研究委員会情報専門教育分科会議事概要

I. 日 時：令和6年6月3日（月）17：00～18：15

II. 場 所：Zoom 会議室

III. 出席者：大原主査、藤田委員、内山委員、金子委員、佐野委員、矢野委員、小田委員、高田^アバ^イ、
齋藤^アバ^イ、畑口^アバ^イ、光井^アバ^イ（事務局）井端事務局長、野本

IV. 議事内容

1. SDGs サイバーフォーラム commons のパイロットプランについて、スケジュールの検討を進めた。

今年度は、メタバース上で学生と企業・自治体等のマッチング試行実験を行い、産学連携人材ニーズ交流会に結果を提示してパイロットプランの有効性を意見交換することになっている。

(1) プラットフォームの開発

- ・ 委員校学生チームの協力により、cluster により7月下旬を目途に作成すことにし、分科会でイメージを確認して8月に完成させる予定とした。
- ・ 作成のイメージは、メタバース空間の中にテーブルと掲示板を配置することを想定している。掲示板には、文字・静止画・動画の掲載を考え、方法について調査・検討することにした。

(2) マッチング試行実験に参加する大学チームの選定

- ・ 3つの大学から、2~4年生の学生チームを7月下旬までに複数選定することにした。
- ・ 学生は、4年生までとし、大学院生は含めないことを確認した。

(3) マッチング試行実験に参加する賛助会員企業、民間団体への打診

- ・ 産学連携推進プロジェクト委員会の賛助会員と本分科会の団体を中心に、7月中にZoomで趣旨や取組みの理解を共有した上で参加協力を依頼することにした。
- ・ モバイルコンピューティング推進コンソーシアムでは、企業が集まる機会があり、その場でサイバーフォーラム commons の紹介を行い試行実験への参加案内を行う提案があった。

(4) メタバース利用ルールの徹底

- ・ 活動に伴う心得をガイドラインとしてビデオ化し、8月に完成させることにした。
- ・ 心得としての項目を8点あげていたが、学生がビデオで見る時間の長さを考慮した場合、最後まで見ないことも考えられ、書面での提示について意見があった。
- ・ 当初の8項目は、5項目に減らし、各1分の説明で合計5分のビデオを作成することにし、それぞれを委員で分担して7月中に原稿の完成を目指すことにした。
- ・ 5項目を分担した原稿を1名の委員（別に1名相談役を付けた）がとりまとめて、8月を目途にビデオを作成することにした。

(5) 学生チームによる SDGs 共創活動計画の作成

- ・ 学生チームが発信するマッチング情報については、学生が夏休みに入ることを想定し、9月下旬を目標に準備することにした。
- ・ マッチング情報の内容は、分野を横断した考察により、学生チーム間での創発的な学び体験を含め、6点について検討しておくことを確認した。

(6) マッチング試行実験の開始

- ・ マッチング期間は、10月上旬～11月下旬とすることを確認した。準備のできた大学から掲載して見てもらう想定とした。就職までの期間となる場合もあり、共創活動は他のメンバーが引き継ぐことも希望した。

(7) マッチング試行実験の結果整理と報告

- ・ 令和7年3月の産学連携人材ニーズ交流会でマッチングの有効性について意見交流することになっている。
- ・ そのために、マッチング状況について、参加大学の委員から12月下旬に報告を作成すること確認した。
- ・ また、マッチング後における共創活動の可能性について、参加した賛助会員企業、民間団体から報告を受ける予定になっている。

(8) その他

- ・ Unity の活用技術習得などデジタルツインの技術活用として、マッチング後の準備を進めてはどうかの意見があり、試行実験の次の段階で委員会からの説明などを検討することにした。

V. その他(今後のスケジュール)

- ・ 次回の分科会は、7月29日17時に開催し、「プラットフォーム」、「大学チーム」、「心得原稿」などの確認を予定している。